

# ド ナ ウ 通 信

No. 41

## 目 次

“顔の見える”ということ	糠沢 和夫	2
大使館からのお知らせ		5
日本人会		8
補習校便り		10
随 想		
「今回の皆既日食について」	東條 太郎	14
「わがまま日本人シリーズ No.1」 (わがまま日本人のブダペスト風呂)		
	秋山 忍	18
「無知と非合理と狂気」	盛田 常夫	22
掲示板		28

## “顔の見える”ということ

糠沢 和夫

一 雑誌・新聞などで、“顔の見える”外交という云い方がよく見られる。一番多いのは、“これだけODAを出しているのに”顔が見えないから感謝されていないのだ”という点を捉えた発言である。

日本では昔から「陰徳」と言ってきた。また、聖書でも、右の手でいい事をして左手に知らせるな、ラッパを吹いて「善行を積みました」と言うな、と戒めている。“天にいます神はとうに貴方の善行は知っているから”というのである。

では、何故“顔の見える”ことを気にするかと言えば、やはり納税者、有権者の反応を気にしているのである。いろいろして上げたのだから、頭を下げて感謝して見せてくれ、(そうでない)、次のプロジェクトがだめにな

る)という気持ちがある。もっともただけど、それがあまり先方に見えると、先方もカンにさわる。近所の魚屋に魚を格安にわけてもらっている貧しい家庭でも、「あいつは、いつも魚をタダ同様に分けてあげているのに、年始にもこねえ」というセリフが人伝に聞こえたらどういう気持ちになるか。感謝を待つ顔は、人に見られてもいい顔か。「冬の華」の高倉健は、自分の与えた幸せが、少女の微笑となつて通りすぎるのを車の中にかくれて見送るのだ。いい顔だ。顔が見えれば心も見える。心を磨かぬうちは、顔を見られることを懼れるべきではないか。

現地の人がいかに日本に感謝しているか現地に行つてみると判る。中には長足の進歩を見せ、ここまで日本人だつてやれるか、という気にすらなる。スリランカで自動車メンテの研修を行っている現場で、視察している僕のところ、研修生の一人がツカツカときて、エンジンの断面と立体図を自分

が書き上げたものをもってきて、その見事さにこつちが、感嘆久しうすると、先方は、こちらがびっくりしているのを嬉しそうにしている。ここに対話の泉が湧き出る。

二・どの国にも悠久のリズムがある。東南アジアの首都のホテルで冷房の利いた（多くは利きすぎの）会場で外国人と議論馴れした、どこにも土の匂いのしない官僚と議論をしていると、

“援助効率”など、すぐ上げられるように思いがちだ。だが、外国人が行って、すぐその国の経済・行政の効率が上げられるような国は、もともと援助なんか必要としていない。歴史の深い諸国に行って、いろいろ助言をして、すぐよくなる、と思うのは、どこかに文化の多様性を認識しない、もっと強く言えば差別心をかくした思い上がりである。従って、顔が見えても見えなくても、援助の“打率”は低いものだ、という事実には耐えねばならない。感謝が見えるまでに時間がかかる。自分の顔が見えることも必要だが、「相手の顔を見る」ことも大事である。これはハンガリーでもそうだろう。

三・アメリカの小学校・中学校に寄付

している例をみると、日本企業の支店長は英語で挨拶をするのがイヤで、金やモノは出すから、校長先生から一言触れていただけは結構、というのが多い。その気持ちは判る。

小学校や中学校は、かくて寄付元の日本人の顔を見ないでしまう。

日本企業としては、町長、町内会長らの有力者に感謝してもらえば、目的は達した、と思っている。ＴＶで一寸企業名に触れてもらえば、「おっ、これは本社に報告するヤマはきまつた」という所だ。あまり派手に報道されると、それが呼び水となって次から次に寄付してくれと言い出される、という感じは、僕が経団連で仕事をしていたときにもあった。

これは、「顔を出すと、手をひっぱられる」という、広末涼子の早稲田の騒ぎのようなもので、名刺を交換するときに、気が重くなる。

これはどうしたらいいか。誠意が伝わるか。いや伝わることもある。いつ

だったかO A P E C（アラブ産石油輸出機構）と共同でシンポジウムをやった。大成功だったが赤字が残った。僕が警察官チームのホテル宿泊費・食費等を計算に入れてなかったからである。

アラブの人の交渉上手は良く知られている。しかも落ち度はこちらにある。しかし、シンポジウムの前の準備期間から一週間の僕の苦勞を、見る人は見ていてくれた。飛行機の別れ際に世間話のように、僕の失敗談を打ち明けただけなのに、次の週に、全額耳を揃えて送金してくれた。もっとも誠意が伝わらなかつた事の方が多い。そのときは腹が立つが、こっちの誠意にも足りぬところがあつたのだ、と反省することもある。

四・“顔が見え”て恐ろしいのは、いろんな所でやるスピーチの一部で思いがけないかたちで、ハネ返ってくることだ。顔は報道されず、言葉が報道

される。この間の石原・障害者報道のように「ハマッてしまう」こともある。日本では役所でも企業でも、欠点主義だから、顔なぞ出して、どこかでケチをつけられたら、目もあてられない、という人もいる（これはほとんどの場合、言い訳）

スピーチの現場でも、こちらが素顔を出して、先方からホンネの発言が出ると、下の人は「しまった」と思って「あれだけ詰めておいたのに」と天を仰ぐ。みんなオロオロしてしまう。

こうして、「心の会話」とか、「本音の対話」といっても、多くのフォーラムは儀礼の玄関からせいぜい三和土のところまで終わってしまう。日本人の多くの人が酒でも入らねば（そして酒の上という弁明が設定されてなければ）、相手にどうとられるか判らぬことは云わない。こうして、顔も発言もヴェールでおおっておいて、顔の見えることのプラスを期待してもこまる。

顔が見える、というのは（西郷さんのようなスーパー大物は別として）ニコニコした顔を見せれば好かれるということに終わらない。顔を見せれば対話が始まる。

釘だって、油を塗っては締まらぬ。ギザギザ、ヒヤヒヤしたところを通って生きた理解がすすむのだ。さもなければ、一度かぎりの人生をやりすごしてしまう。鷗外にもソートン・ワイルダールの短編にも、人生の難所を本音を抑えてうまく過ごしたと思っっている間に、人生をすべてやりすごしてしまった嘆きが語られている。

ダイヤモンドの原石のような、ラフな本物の輝きをもった人だけが、“顔の見える”ことの収穫を得る。逆に、顔が見える、ことをやっていたら、次第に磨かれてくる、ということか。

## 大使館からのお知らせ

### 領事部からのお知らせ

#### (一) 領事部受付時間

領事部の受付時間は次の通りです。  
出生届や婚姻届等の戸籍・国籍関係、  
各種証明書関係（特に警察（無犯罪）  
証明書）については届出用紙への記入  
に時間がかかりますので、余裕を持っ  
て来館して下さい。

受付時間 月～木 8:45 12:15

14:00 15:30

金 8:45 12:15

#### 領事部

電話番号:275 1275（大使館代表）

FAX 番号:275 1266（領事部直通）

内線:秋山（118,127）

杉本（120）

交換手を介さずに直接領事部に電  
話をかけたい場合は、代表番号を押  
した後、日本語での案内が流れまし

たら、内線番号を押して下さい。

ホームページのアドレス

当館ホームページ

[www.japan-embassy.fu](http://www.japan-embassy.fu)

外務省ホームページ

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/>

#### (二) コンピュータ西暦二〇〇〇年問題

コンピュータ西暦二〇〇〇年問題  
とは！？

コンピュータ・システムやマイコン  
塔載機器においては、日付処理が西暦  
年号の下二桁で扱われているものが  
あり、それらのコンピュータ等では二  
〇〇〇年は「〇〇」と表記され一九〇  
〇年の「〇〇」と区別することが出来  
なくなりました。そのため、適切な対策  
が講じられていないコンピュータ等  
は、正常に機能しなくなり、様々な問  
題を生じる可能性があります。それが

いわゆるコンピュータ西暦二〇〇〇  
年問題（以下「二〇〇〇年問題」）で  
す。

日本政府では、二〇〇〇年問題の対  
応に万全を期すよう、官民が一体とな  
って対策を進めており、外務省では、  
旅券や査証の発給を含め、本省や在外  
公館の通常の行政サービスに支障を  
きたさぬよう対策を講じています。

海外においても、各国政府や企業な  
どが二〇〇〇年問題の対策を進めて  
いますが、日本国内と同等の対策が講  
じられないこと等により不都合、不具  
合が生じることも考えられ、影響の程  
度や期間を正確に予測することは困  
難ですが、二〇〇〇年問題の影響によ  
り何らかの混乱が発生する可能性が  
指摘されている主要な分野は以下の  
通りです。

交通機関（運行スケジュールの変更  
や、遅延、キャンセルなど）  
公共サービス（電気、水道、ガス等  
の供給の中断や停止など）

金融サービス（クレジット・カードや自動現金受け払い機の中断や停止など）

通信システム（電話や情報通信の中断や停止による現地当局、日本大使館・総領事館、日本の家族等との連絡の困難など）

医療サービス（緊急医療や特別な治療を受けることなどの困難など）

#### 留意事項について

一九九九年末から二〇〇〇年初頭にかけて海外旅行や海外への滞在を予定されている方々は、二〇〇〇年問題により下記の分野などで何らかの不都合・不具合が生じる可能性があることを念頭に、旅行や滞在の計画を立てるようにして下さい。また、出発する前に、以下の事項を行うことをお勧めします。

- (イ) 家族や関係者に詳細な日程を連絡しておくこと。
- (ロ) 二〇〇〇年問題を免責にして

いない海外旅行傷害保険に加入しておくこと。また、加入する保険内容の詳細について保険会社に確認しておくこと。

なお、日本政府としての二〇〇〇年問題への対応状況や二〇〇〇年問題に関するQ&A等は、インターネットの総理官邸ホームページで紹介しています。

総理官邸:

<http://www.kantei.go.jp/jp/pc2000/index.html>

また、各国の二〇〇〇年問題への対応状況や関連情報についても、インターネットで入手可能ですので、参考にして下さい。関連ホームページアドレスは次の通りです。

米国:

<http://travel.state.gov/y2kca.html>

世界銀行:

<http://www.worldbank.org/y2k/>

OECD:

<http://www.oecd.org//dsti/sti/it/infosoc/news/y2klinks.html>

## 第七回日本語スピーチ

## 日本映画上映会

### コンテスト

十月十六日(土)午後一時より日本大使館講堂において、大使館、国際交流基金ブダペスト事務所及び国際協力事業団ハンガリー駐在員事務所の共催により、ハンガリーで日本語を学習する高校生、大学生による日本語スピーチコンテストを開催します。

今年で七回目となるこのコンテストでは、学生のみなさんが日頃の日本語の学習の成果を披露するとともに、日本語を学習している小学生たちによるアトラクション、昨年の優勝者が賞品の日本往復航空券を利用して日本を訪問した際の体験談の発表、また、参加者への記念品抽選会なども行われますので、日本人の皆様にもぜひ御来館いただき、学生たちへの応援をよろしく願っています。

十月二五日から二七日及び十一月一日から三日までの計六日間、日本大使館講堂にて日本映画上映会を開催します。プログラムは以下の通りですので、皆様もぜひおいで下さい。

十一月一日(月)

「男はつらいよ 寅次郎ハイビスカスの花」18:30

山田洋次監督

出演：渥美清、倍賞千恵子、

浅丘ルリ子

十一月二日(火)

「青幻記」18:30

成島東一郎監督

出演：田村高廣、賀来敦子、

山岡久乃

十一月三日(水)

「異人たちとの夏」18:30

大林宣彦監督

出演：風間杜夫、秋吉久美子、

片岡鶴太郎

十月二六日(火)

「再会」18:30

斉藤耕一監督

出演：野口五郎、江波杏子

十月二七日(水)

「疑惑」18:30

野村芳太郎監督

出演：桃井かおり、岩下志麻、

仲谷昇、柄本明

## 日本人会

九九年日本人会、

### 補習校共催運動会

本田 雅英

障害物競走、綱引き、玉入れ、パン食い競争、二人三脚、リレーなど子供たちはもちろんのこと、昔子供だったお兄さんやお姉さんも頑張りました。

九月五日（日）、晴天の汗ばむような日差しの中、日本人会の皆さんや補習校の子供たち、そして前年に引き続き Viranyos 小学校で日本語を学んでいるハンガリーの子供たちを招いて、総勢約二〇〇人（事務局発表！）で運動会が行われました。会場となった FTC スポーツクラブには朝早くからたくさんのおみなさんが集まりました。

競技は児童生徒、幼児、一般と種目

別に行われましたが、スタート・ラインにつくと子供の頃を思い出すので、しょうか、日ごろの運動不足を忘れて、合図とともにゴールめがけて爆走する方、綱引きに熱中するあまり脇の下を縄ですりむく方など、全力で競技に参加するお父さん、お母さんの姿が目立ちました。一方、児童生徒たちは紅白二組に別れての対抗戦でしたが、今年はずっと点数を重ねた赤組が勝利しました。

当日は学校の新学期開始直後の日曜日にもかかわらず、大勢のハンガリーの子供たちそして親御さんたちにも参加してもらいましたが、競技をしている時の顔はみんな真剣そのもの、競技に熱中した時の顔つきは日本人もハンガリー人も同じでした。また、日本人にとってはおなじみの「ラジオ体操」、ハンガリーの子供たちにとっては不思議な「おどり」に思えたかもしれませんが、みんな周りを見ながら真剣に手足を動かしてたのが印象的

でした。

お蔭様で大きな怪我もなく無事に運動会を終えることが出来ました。最後になります、ご多忙のところ準備にご協力いただいた商工会の皆さん、運動会の準備プログラムを作っていただいた補習校の園部先生、ハンガリー学校や運動場管理者との連絡役や運営上の相談役となっていたいただいた日本人会事務局の方々などにこの場を借りてお礼申し上げます。



## 九九年日本人会

### ソフトボール大会

#### (第一回)

当初予定していた五月九日(日)の開催が雨天で中止となったため、翌週一六日(日)に開催されました。日々の特訓?でチームプレーがすばらしい企業チームや若さが武器の大使館・一般チームなど計八チームで優勝が争われました。

好プレー、珍プレーに温かい声援が送られるなか、大使館・補習校・一般チームが九八年秋の大会に続いて優勝、準優勝はスズキ、三位はデンソーとなりました。ホームラン競争ではデンソーの手島さん、大使館の杉本さんが共に三本でホームラン王となりました。

#### (第二回)

一〇月三日(日)晴天のもと予定通り開催されました。当日は前回にも増して沢山の人が集まりました。

今回はスズキ・チームがA、B二チームとなったことから、前回からチーム増え九チームで争われました。最終回の大逆転劇や接戦となった試合、得点に大差の開いた試合など内容は様々でしたが、日ごる家庭では見られないお父さんの勇姿、子供たちや女性の好プレーなどに応援席から熱い声援が送られていました。

優勝スズキA、準優勝デンソー、三

位大使館・補習校・一般チームという結果となり、大使館チームの三回連続優勝はなりませんでした。昨年も強かったスズキ、大使館・補習校・一般チームに今年からデンソー・チームが加わり、3強時代が続くのか、その一画を崩すチームが現れるのか、(あるのかどうか知りませんが)各チームの冬季の自主トレ、春季キャンプの結果が見られる二〇〇〇年春が楽しみです。

ホームラン王の座は、四本打った商会Bチームの竹中工務店の渡辺さんが獲得しました。

第二回ソフトボール大会を持ちまして九九年運動部の活動は終了しました。

今年行事の雨天中止決定の難しさを痛感しましたが、商工会の皆様、事務局の酒井さんなどの温かいご支援、ご協力により無事活動を終えることが出来ました。皆様にこの場を借りてお礼申し上げます。

## 補習校便り

ブダペスト日本人補習校では、小学部一年生から中学部三年生まで合わせて四十五名で四月に新学期をスタートしました。七月後半から八月後半までの夏休みを挟んで、現在二学期を迎えています。その間、四名が帰国し、転入生を一人迎え、四十二名になりました。出入りの多い補習校ですが、新しい子ともすぐに打ち解け、仲良くなるのがここの子供たちのいいところです。アメリカンスクールやハンガリーの学校が九月に新学年を迎えました。補習校と二足の草鞋を履いている子供たちは慣れるまでたいへんそうです。毎日元気な顔を見せて登校しています。

補習校では、一学期は入学式、ハンガリーの小学校との合同運動会、夏期合宿、夏期集中授業など様々な行事を

行ない、二学期になって九月に日本人主催の運動会を行いました。その中から今回は夏期合宿と秋の運動会の様子をご紹介します。

夏期集中授業も半ばにさしかかった七月一日から三日間、オーブダ地区のドナウ湖畔にペンションを借りて合宿を行いました。小学部一年生から五年生までは一泊二日、六年生以上中学三年生までまでが二泊三日の合宿です。マルギット橋から船でドナウ川を上ること約一時間、子供たちは随分遠くまで来た感じを持ったようです。合宿では毎年、異年齢の子供たちで班を組み、年長者が年少者の面倒を見ながら班単位で行動します。今年も六年生以上の大きい子が本当によく小さい子の面倒を見てくれました。

一日目の午後は野外ゲームに親しみ、夕食後、班ごとに出し物を競う「夕べの集い」を行いました。各班それぞれに趣向を凝らし、劇、歌、踊り、フアッションショーなど様々なものが

飛び出しました。子供たちの創造力と表現力に、我々大人は時には腹を抱えて大笑いし、時には唯々感心させられるばかりでした。

二日目はプールサイドで中学生が考えたゲーム、「ウォーターファイト」なるものをしました。中身は水かけ遊びなのですが一応ルールがあり、全員で白熱した戦いが繰り広げられました。そのあとプールでしばらく泳いで、昼食を食べ、小学一年生から五年生まで解散となりました。「もっといたい。」という声があちこちから聞こえ、楽しかった思い出を胸に、名残惜しそうに合宿所をあとにして行きました。

六年生以上になった二日目の午後からは、テニス教室、ボーリングとスポーツに親しみました。そして、最終日はハンガリー人のインストラクターに付いてカヌー教室を行いました。流れの速い本流でカヌーをすることは勇気のいることでしたが、男子、女

子それぞれが八人乗りのカヌーを力を合わせて漕ぎ、無事帰ってくる事ができました。合宿を通して、補習校の子供たちは仲間としての一体感を育み、役割を分担して協力し合うことやルールを守って楽しむことを学び、たくさんの思い出を作ったことでしよう。今や補習校の最大の行事で、伝統になりつつあるこの夏期合宿ですが、今後もよき伝統として後々まで受け継がれていくことを願っています。

夏休みが明けて間もない九月五日の日曜日、日本人会、日本人補習校共催の運動会が行われました。例年、雨にたたられている運動会ですが、今年は暑くて汗が出るくらいに晴天に恵まれました。春に招待して頂いたヴィラーニョシュ小学校の子供たちも参加してくれて親睦を深め合うことができました。日頃走り回るのが大好きな子供たちのこと、待ってましたとばかりに思いつきり体を動かしていました。また、日頃なかなか見られない

お父さん、お母さんの活躍に声を張り上げて応援したこともいい思い出になったことでしょう。準備、運営などでお世話になった日本人会、及び保護者の皆様はこの場をお借りして御礼申し上げます。

二学期はこの後、十月に秋の遠足、十一月に文化祭という楽しい行事が控えています。子供たちにとってこれらの行事は大きな楽しみでもあり、色々なことを学ぶ場でもあります。二つの学校に通い、二つの言語で勉強している子供たちは、日本にいる子供たちより苦労が多いのは当然でしょう。しかし、そんな中でみんなそれぞれに大変努力しています。この子達の努力が報われ、それぞれの子が成長していくように補習校では最大限の支援をしていきたいと思っています。今後とも日本人会の皆様のご支援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。

## うんどう会

二年 山名 杉太

日曜日にうんどう会をしました。

さいしょにかい会しきで、ハンガリー人が話をしました。

「アゲアゲゴロゴロパイパイ！」

つぎに、日本人の話です。

「みなさんこんにちは。」

そしてとうとう走るばんです。ぼく

はむねがドキドキしました。一位になれるか、ちゃんと走れるか？「レディーゴー」

一位りょう太くん、二位まりさちゃん、三位自分でした。

ぼくはがっかりしました。

つぎは、たま入れです。ぼくは白に入りたいと思いました。けれども赤の方にむりやり入りこまされました。「レディーピー」

それは二分しようぶでした。いまは十五たい八十五でかっています。つぎのつなひきもかちました。

そして、パン食いきょうそうです。またぼくは三位でした。

そしてつぎは、しょうがいぶつきょうそうです。おかあさんは三位でした。しょう品はドライパーセットでした。そのつぎは、フオークダンスです。ぼくはくりかえしを十二回やりました。つかれたです。

まだリレーがあるけど、ぼくはもうへとへとです。けれども四ばんにえらばれました。「レディーゴー！」

ぼくはおそかったけど、さいごに走ったしょうくんは、やっぱりはやい。さいごにしょう品をもらいました。それはなんとミッキーのふで立てでした。そしてさいごにしゃしんをとりました。とてもたのしかったです。

## くやしかった運動会

五年 近藤 麻実

「がんばらなくちゃ。」

と、車の中でずっと思っていたらグランドに付いてしまった。

私は、とつてもきんちょうしていました。短距離が始まったとき、もう私の心ぞうはドキドキしていました。

「ピー！」

と、笛がなったとき、できるだけ走ったけれど、めちやくちや足がおそくなっているのに気がついて、

「やーだー！なんで？」

と、思いこんでしまいました。なんとかピリにはならなかったけれど、ほんとにくやしかったです。

パン食い競争は、おとしもきょ年も、一位になったのに今年は、三位にも入れなくてとーつてもくやしかったです。

足がとつてもおそくなってしまうのはくやしかったけれど、二人三きやくで、しば田ぶさ子ちゃんとなれて、しかも、一位になれたのがとてもうれしかったです。

でも、今年の運動会は、くやしいこ

とがとつても多かったです。とくに、リレーAで一人もぬかせなかったこ

とが、とつてもくやしかったです。リレーBも、なんだかだれもぬかせなくてくやしかったです。

パン食い競争で、三位にも入れなかったことが頭のなかにずーっとのこっています。

## 運動会

五年 橋本 尚久

九月五日日曜日、運動会がある日です。ぼくのチームの色は黄色です。

運動会で一番好きだったのはリレーです。ぼくは一番目に走る人でした。それを聞いてびっくりしました。ぼくは百m走ります。ちよっときついなあと思いました。

「イチニツイテ、ヨーイ、ドン！」  
とうとうレースが始まりました。走って走って走りました。どんどんぬか

されていって、とうとうみんながバトンをわたすところまでいってしまいました。もう次の人たちはいってしまいました。そしてやっと次の人にわたしました。ぼくは、よくやったという気がしました。

二回目のレースは、七番目でした。ぼくは、こんどこそやるぞっと思いましたが、

一番、二番…ぼくのぼくの番がきました。六番の人がぼくにバトンをわたして、ぼくは走りました。二回目のレースも百m走りました。

次の人が見えました。ぼくは、その人にバトンをわたしました。その人は一平くんでした。一平くんはすぐはやく走りました。そして、ゴールしました。黄色は負けましたが、とても楽しい運動会でした。

## 輝いている僕〜一番大好きな日

中二 鹿目 はるな

僕は国旗。みんなが来るまで、ねむっている。あつ一人二人、人があるいてくる。わーい！うれいな。その時僕は、飛び上がりそうなくらいうれしかった。だっていつも僕は、真っ暗な部屋の中で一人ぼっち。あつ！「君が代」が始まった。さてさて、僕の出番だ。さー起きるぞ！ぐん。急に背が高くなった。みんなが小さく見える。みんな、僕を見て！

ピーー！笛が鳴った！短距離走が始まったんだ！がんばれ！はーいいな。僕も走ってみたいな。そう思っているその瞬間、風が吹いた。あつ雲が流れていく。そうかー雲と一緒に僕は、走っているんだ。

それから二時間が経って、いい匂いがしてきた。あの赤くて丸いものは何だろう？

「わーい。私の大好きなトマト

だ！」

トマト？赤くて丸いものはトマトというのが。フムフム。そしたら、僕の真ん中にあるのは、トマトかな？

それから二時間ぐらい経った。リレーだ。スタートラインから、バトンを持った六人が飛び出した。みんな必死で走っている。必死な顔を見ていると、元気が湧き出てくる。思わず、がんばれと言いたくなる。その時だ。ピュン。風が応援している。僕も負けなぞ！バタバタ。バタバタ。がんばれ。がんばれ。それしかできない僕だけ、横からみんなの笑顔が見られる。もうこれで悲しくないよ…。

その後、僕は一番ながめの良い所から下ろされた。みんなが帰る。ちよっぴり悲しい。でもまた一年経ったら、元気な笑顔が見られる。それまで僕は待つ。

## 随想

### 今回の皆既日食について

東條 太郎

今回の皆既日食は今世紀最後のもので、次に皆既日食が起こるのは二〇〇一年であり、しかも観測条件の良い場所のほとんどは海上となり、陸地から観測するためにはアフリカ中南部まで行かなくてはならない。

皆既日食が見られる地域を皆既帯と言うが、今回この皆既帯はイギリス南部からヨーロッパ大陸上を南東（地図上では右下）に向けて伸びる。このため観測できる場所はほとんど陸地であり、国で言うとイギリス、フランス、ベルギー、ルクセンブルグ、ドイツ、オーストリア、スロベニア、ハンガリー、ユーゴスラビア、ルーマニア、

ブルガリア、トルコ、シリア、イラク、イラン、パキスタン、インドなどで皆既日食を見ることがができる。

これだけ多くの国々で（しかも多くが治安などに問題のない先進国）、夏休みの真っ只中に、太陽が高い位置にある時間帯（ハンガリーでは午後二時四七分から皆既）に皆既日食が見られるというのは、何重にも好条件が重なっているわけで、ゆえに世界中から注目されているのである。

皆既日食とは、月が太陽と地球の間に入ることによって起こる現象で、要は月が太陽を隠してしまうのである。月と太陽の大きさは全く違うが、偶然にも地球から見たときの大きさがほぼ同じであることから、この素晴らしき天体ショーが見られるのだ（太陽の直径は月の約四〇〇倍だが、地球との距離も約四〇〇倍離れている）。皆既日食を宇宙から見るのも一風変わった楽しみ方で、この場合は月の影が地球上を移動していくのが見えること

になる。CGで作成されたシュミレーション画像を見たが、フランスとドイツをすっぽり覆ってしまうほどの巨大な影が、かなりの速度（時速一七〇〇kmらしい）でヨーロッパ大陸を移動していった。今回ロシアの衛星がこの様子を撮影したそうなので、映像を見るのを楽しみにしている。

なお、参考までに、イギリスで出版された「TOTAL Eclipse」という本に載っている興味深いデータをいくつか紹介する。

- ・一人の人間が生涯に皆既日食を目撃できる確率は二万五千分の一。
- ・地球上のある一地点にずっと立ち続けた場合、皆既日食を目撃できるのは四〇〇年に一度。
- ・古代中国では日食は竜が太陽を食べるため起こると考えられていた。日食が始まると人々は竜を追い払うため、大きな音を立てて騒いだ。
- ・一二五万年後には月が現在よりも約三万キロ地球から遠ざかり、太陽

を隠すに十分な大きさでなく、皆既日食は見る事ができなくなる。ちなみに、この本の背表紙には「次号の発行は二〇九〇年九月です」と記されている。これは次にイギリスで皆既日食が見られるのが二〇九〇年九月であるため。

### 「八月十日（火）皆既日食前日」

夕方仕事を終え、会社からバラトン湖へ向かう。今回の皆既日食をハンガリーで見るのに一番良い場所がこのバラトン湖なのだ。皆既日食の継続時間が二分二二秒と、ほぼ最大（最も長く見られるのはルーマニアのブカレスト周辺で二分二三秒）なのである。バラトン湖へ向かう高速道路に入ると、さすがに車の量が多い。路肩でヒッチハイクをする若者の数も非常に多く、中には自転車で路肩を走っている奴までいる。また、古い車の多い国の悲しさで、この大事な日にエンストを起こしてしまって立ち往生してい

る車もかなり見られた。気になる天気予報は、TV局によって「絶対晴れます」と言っているところと、「残念ながら曇ります」と言っているところがあり、まったく当てにならない。ハンガリーには気象庁がないのだろうか。

僕個人は晴れると信じている。理由は西の空に綺麗な夕焼けが見えた。僕は土壇場で勝負強い……。

あまりこちらも当てにはならないか。

### 「八月十一日（水）皆既日食当日」

バラトン湖では日食が始まるのが昼前（十一時半過ぎ）なので、朝はゆっくり寝ているつもりだったが、興奮しているのか六時過ぎに起きてしまう。何と、外はかなり強い雨！である。シヨックを受け、「どうしよう！」と狼狽するものの、別にどうしようもないことに気づき、再び眠りにつく。

八時過ぎに起きると、窓から強い日差しが差し込んでいるではないか！思わず飛び起きて外を見ると、わずかに

薄い雲が漂っているだけの快晴である。朝の雨は何だったんだろう。

それにしても、起きた瞬間から天気を気にするなんて何年ぶりだろうか。恐らく子供の頃の運動会の朝以来ではなからうか。

十一時過ぎにホテルの部屋を出て観測態勢に入る。と言っても、観測場所にはホテルの庭、観測用品は眼鏡屋で買った紙とフィルムでできているサンングラス。約二五〇円也。使い捨てカメラ APSカメラ 会社から借りてきたデジタルスチルカメラだけである。すぐ近くの公園ではマニアラしき人達が三脚を使って天体望遠鏡やら一眼レフカメラやらの設置にいそしんでいる。

十一時半過ぎ、特製サンングラスで見ていると、予定通り、太陽が右端から欠け始めた。最初の二三分は欠け始めたことに喜んで一生懸命見ていたが、見る見るうちに欠けていくわけでもないし、サンングラスを使わなければ

まったく変化はわからないので、すぐに飽きてしまう。

十二時過ぎ、太陽の半分くらいが月の陰に隠れた。と言っても、依然としてサングラスを通して見て初めてわかるだけで、何も知らずに道を歩いていたら絶対に気がつかない。

十二時半過ぎ、残り二〇%くらいになる。ここからは結構忙しくなった。太陽の残りの半分がどんどん細くなり、爪の先のような形になる。雑誌の記事が何かで、木漏れ日も爪の先形になる、と書いてあったので、手元にあった丸い穴の開いた紙をかざして地面に映る光と影を見てみると、なるほど爪の形で光が映っている。

ちなみに、爪の形にまでなっても、まだまだ肉眼で見ると普段通りの太陽にしか見えない。太陽光線というのは斯様に強力なのだ。

残りが一〇%を切る。周囲を見渡すと、だんだん薄暗くなってきたのがわかる。急に厚い雲がかかって薄暗くな

ったときの様な感じである。近くを列車が通り過ぎた。見ると乗客がみんな窓から身を乗り出し、空を見上げている。さすがに運転士までは顔を出していなかったが、間違いなくよそ見しながら運転していたと思う。

気温も肌で感じる事ができるほど下がってきた。急に暗くなる様子といい、急速に気温が下がる様子といい、嵐がくるときと非常に似た状況に見える。さっきまでの暑さが嘘のようだ。実に快適である。と、それまでどんなに太陽が細くなってもその変化が肉眼ではわからず、いつも通りの眩しい光しか見えなかったのが、突然、本当に突然、その光が小さくなり、肉眼で見えるようになった。これは皆既日食になる直前の現象で、太陽の光りは月の影から僅かに漏れるのみである。

周囲はすっかり暗くなり、外灯が灯っている。東の方角の地平線近くを見ると、朝焼けのように茜色に染まっている。突然の闇に怯えて動物が騒ぐ、

と何かで読んだが、確かに犬が数匹たたたく吠え始め、鶏の鳴き声も急に聞こえ始めた。やはり闇に怯えているのか。それにしても、思ったほどの騒ぎようではない。一番騒いでいたのは僕を含めた人間であった。

僅かに残っていた光も唐突に消え、一瞬にして写真などで見知った皆既日食の太陽そのものが目の前に現れた。空は日没後しばらくたった後の状態を思わせる濃紺色となり、そこに黒い太陽（実際には太陽の前に立ちふさがる月）が浮かんでいる。太陽の左下あたりに明るく輝く金星が見える。

太陽の大きさは思ったより小さく見える。考えてみれば、皆既日食の写真はアップで写したものばかりだから、かなり大きく見えるような気がしていただけで、正午過ぎの太陽はほぼ真上にあり、小さく見えるのであった。

黒い太陽の周囲には白い光が放射状に広がっている。これが通常肉眼では見ることのできないコロナである。



倍率の高い天体望遠鏡などで見ると、コロナの吹き出す様子や、あるいは月の表面の凸凹まで見ることができらしいが、俄か観測家の乏しい装備ではそれは叶わない。それでも二分二秒の間、肉眼で見ただけで精一杯であった。実に幻想的で、不思議な光景であった。瞬きをするのも惜しいような、そんな時間が流れていく。

唐突に終わりは訪れた。欠け始めたのと同じ右端に、強烈な光が漏れる。これがダイヤモンドリングと呼ばれる現象で、確かに漏れた光の部分が指輪に輝く大きなダイヤモンドに見える。ただ、漏れた光は見る見るうちに大きくなり、あっという間に再び肉眼では見れないほどの眩しい太陽に戻ってしまった。特製サングラスで見ると、さっきまでとは反対向きの爪先の形の細い細い太陽が見えるが、肉眼ではその形はわからない。周囲も急速に明るくなっていく。夕立があがって厚い雲の切れ目から急に陽の光が射し

込んできたような感じである。

急にまわりに日常の雑音に戻った。どうやらそばを走る幹線道路を行く車も一時停止して皆既日食を見ていたようで、次々に車をスタートさせる音が聞こえてくる。まわりで見ていた人達も思い思いの方向へ散り始めた。みんな感動の余韻に浸るなんてことはしないのかしら。僕は未練がましく、大きくなり始めた太陽を何度もサングラス越しに見たりしていた。

太陽が欠けている、という意味では皆既日食に近づいていく時の太陽も、皆既日食の後大きくなっていく太陽も同じだと思ふのだが、もう誰も空を見上げていない。一〇分もたつと、驚いたことに早くもバラトン湖を発つ車の渋滞が始まった。上空の太陽はまだ半分の大きさもない、非日常的な姿なのに、誰も気にしていないのである。意味もなく、クリスマスイヴを過ぎた後のクリスマスケーキ、などという言葉が頭に浮かんできてしまった。

おわりに

こうして僕の生まれて初めての、そして恐らくは最後の皆既日食体験は終わった。大宇宙の神秘の一端に触れ、非常な感激を覚えたが、同時に科学の進歩の偉大さも実感した。昔、天文学がまだ発達していなくて、日食という現象が解明されていなかったころは、人類は恐れ慄いていたのに、今では秒単位でスケジュールがわかっている、何年も前から観測の準備が行われている。今回も、事前に集めたデータ通りに太陽が欠け始め、皆既となり、再び太陽が大きくなっていく様子を見て、完璧に準備されたショーを見ているような錯覚すら覚えた。

こうした体験をきっかけに天体マニアになっていく人もいます。ですが、僕はそこまではいきそうもありません。なお、日本で次に見れる皆既日食は二〇〇八年(?)頃らしく、沖縄のさらに南の方の島まで行けば見れるようです。

## わがまま日本人シリーズNo.1

(わがまま日本人のブダベスト風呂)

秋山 忍

なんとわがままな日本人が多いのでしょうか。海外に旅行しながら、また、住みながら「やれここの食事は、この人は、この国は…」そんな「いや」なら「来るな、住むな、出国してくるな」と言いたいところですが、そんな「あなた」に！そう、あなたのようなわがまま日本人のためにこのシリーズを書き始めました。第一回は「あったかい風呂に入りたい」というわがままな日本人のために、ブダベストの温泉について意外と知られていないようなので、御紹介します。

### その一：入浴のやり方

入場料を払う(いろいろな料金があるので払いすぎないように注意。普通キャビン付きの料金で払う)  
空きキャビン(ロッカー)を見つけ、

係員に開けてもらう。中で服を脱ぐ。パンツは置いても貴重品は置かない。風呂に行く前に鍵をかけてもらい、自分の鍵を預かり、ふんどしまたは、手首に入浴中取り付け保管する。

そのお風呂に応じ、「ふんどし風きれ」か水着、またはすっぽんぼんで入浴。

もちろんサウナ、水風呂に入るのもよし、体を洗うのもよし。

タオル(白い布)を無料で貸してくれるところもある。係員にロッカーを開けてもらい、着替える。

帰り際に係員にチップを渡す。(マツサージ、ペディキュア等スペシャルサービス?については係員が案内してくれる。)

その二：温泉BESTIO(お勧めの順番になっています。一般的な情報は地球の歩き方等を参考にしてください。)

## BEST1

観光風呂：セーチェニ温泉 水着

筆者お勧めナンバー1はここだ。天氣の良い日、蔭のからまる古い建物を眺めながら、また、冬に零下になる冷たい空気に顔をさらしながら入る野外露天風呂は最高。名物の浴場チエスも見ることができ、お客さんを連れていつでも満足される。また、子供も一緒に入れる(と思う)ので家族向きでもある。室内温泉もあり、奥に人のない比較的暖かい温泉がある。

電話(321)0310

料金500Ft 開館時間6~18:45

## BEST2

お勧め風呂：ラーツ温泉

男女曜日別裸

個人的に好きな穴場的風呂。比較的お湯も建物も清潔で、人も少ない。室内の雰囲気も明るくきれいだ、一般的な注意は必要。車もすぐ駐車することができ便利。男性と女性の日がある

ので注意。

電話 (356) 1322

料金 500Ft 6:30～18:00  
月・水・金が女性

### BEST3 豪華風呂...ゲレルト温泉

水着可男女風呂別

ガイドブックに紹介されている有名な風呂なので、観光客は喜ぶが料金が高い。プールは死ぬほど冷たいが内装は豪華で隣に水着を着て入る男女混浴の風呂がある。その他に男女分かれた大浴場がある。受付でばられないように注意(ホテルが経営しているのではないー)

電話 (466) 6166

料金 1500Ft 6:00～18:00  
夏はプール込みで別料金

### BEST4 玄人風呂...ルダッシュ温泉

男専裸

温泉好きの邦人(いわゆる玄人)人気ナンバー1がここ。なぜなら一番熱

い40度のお湯がある。雰囲気はトルコ式の風呂で薄暗く、汚いが、それが日本でいうなら、野沢温泉風のひなびた温泉の雰囲気をかもし出す。天井ドームから射し込む自然の光が美しく、

温泉通なら満足するはず。ただし、観光客や初心者にはお勧めできない。男性専用だが健全(当たり前)な雰囲気。現地の人にも人気があり、駐車場の確保が難しく、また、混雑時は入場整理券が配布され、待ち時間がある。

電話 (326) 1695

料金 550Ft 男専用 6:00～19:00  
土・日 6:00～12:00

### BEST5 くつき風呂...ヘリアホテル

水着

料金が高いが一日くつろぐために行く温泉。プールは適温ですいているし、泳げる広さ、ジャグジーやビュフエもある。プールサイドで昼寝や食事をしたり、友達に電話をしたり、温泉につきりながら読書したり、優雅に過

ごそう。お金持ちが集まる。ときおり、凄い美女も出現する。家族ずれもOK。ただし、長い時間いなければ元を取れず損をする。

電話 (452) 5800

料金 1700Ft (平日 7:00～15:00)

2100Ft (平日 15:00～21:30)

土・日 7:00～10:00)

2700Ft (土・日 10:00～21:30)

### BEST6 庶民・家族風呂...ルカーチ温泉

水着

本来、医療用の温泉ではあるが、ハンガリーの一般的庶民が入浴しに来る。子供は原則的に駄目らしいが、プールの料金を払って、そちらの入り口から入ることができる。プールは、やはり死ぬほど冷たい。日本人の子供連れは珍しいので入浴者たちは歓迎してくれる。ハンガリー語ができる楽しさ倍増。奥に比較的熱いお湯もある。値段も安く、手軽な風呂である。

電話 (356) 1322

料金 500Ft 6:00～19:00

日 6:00～17:00)

**BEST7** スリル風呂…キラーイ温泉

男女曜日別裸

スリルを味わうならここ。ガイドブックでは「伝統的なトルコ風呂でお薦め」となっているが、男性が一人で入浴するには相当な勇気がいる。約75%の確率で、忘れられない思い出と土産話を作ることができる。ちなみに、筆者は20分で3人のスキンシップの洗礼を受けた記録がある。(自慢してどうする?) 恐い物見たさで行きたい人は、友達と仲良くペア?で入浴することを薦める。女性には比較的安全で趣があり、良い風呂ではある。入浴のほかに、ペディキュア(足の爪や皮の手入れ)で、消毒していないナイフで巧みに足の皮を剃り落としてもらったり、自分の爪を他人が手入れする恐怖を体験できる。また、やはりオプシオンである男性マッサージもけし

て気持ちのいいものではなく、意味ありげでスリルがある。ずばりお薦めの

「スリル風呂」だ!

電話(202) 3688

料金 500Ft

男 6:00～20:00月・水・金

女 6:30～18:00土6:30～12:00

**BEST8** エッチ風呂…マルギット島野

外屋外プール

水着

ブダベスト市民憩いの場「マルギット島」中心部にある野外プールの奥に広くて比較的暖かい風呂(温泉プール?)がある。この側には、波のでるプールや広大なプールが何種類もあり、出店も沢山あるので、公園で遊んだ後のプールにお風呂と、まさに家族向きでもある。お父さんにはマルギット島名物のトップレスが眩しい。特に右奥の迷路プール(つかるだけ温泉プール)のさらに奥がお目当てゾーンとなっている。大騒ぎする子供達と絡み合う恋人達のシチュエーションが

いかにもヨーロッパらしい。

**BEST9** 秘密風呂…アクインクム

水着

アクインクムホテル地下にあるおしゃれな「お風呂」というより、「ジャグジー」。長さ20メートル程の浸かるだけの泳げないプールがある他、ビュフェ等もあり、清潔で雰囲気はある。入浴料が最も高く、ほとんどお客がいないため、誰にも会うことなく入浴できることから、恋人同士やその他事情により秘密でお風呂に入りたい人にお薦め。

**BEST10** マイナー風呂…テルマルホテル

水着

ガイドブックでは有名なマルギット島のホテル地下温泉。入場料が高い割りに雰囲気は良くない。ドイツ人の旅行者以外誰もいない。子供の多い家族連れでプライベート感覚で入るに

は良いかもしれない。(ドイツ人から苦情がなければ)それにしても値段とは釣り合わないと思う。ただし、プールサイドでケーキを食べることができる。(嬉しくもないか?)

その三：注意事項

貴重品は持っていかない。小銭と身分証明書のコピーのみ。

男性嗜好の方をからかわない。

絶対お風呂で泳がない。(これは

「お魚になった私を見て」の意)

また、湯船の中央、または噴水・お湯の吹き出し口にむやみに行かない。(有名な話だが「募集中」の意)

迫られたら、はつきり「Nein!」と断ろう。照れたり、ぐずぐずした態度を見せると、「「いやいや」もいいのうち」と勘違いされる。そして、追いかけてられてもあわてて小さな風呂に逃げないこと(「かわいい私を捕まえてごらん!」意)、ましてサウナ室に逃げ込まない(「さあ、

こっちに来てごらん」の意)そこでは風呂場以上の「地獄絵図」が繰り広げられていることもある。もちろん、ウイנק等されても答えないの、は言うまでもない。冗談にならない。ほとんどの温泉は、基本的に子供は入浴できないことになっているらしい。(が方法次第)

入場するにあたってはほとんどハンガリー語しか通ず少々きつい。工事や清掃で閉まっていることがあるので、前もって電話確認すると良い。

その四：楽しむ秘訣・ポイント  
素人(ここでは、初めてお風呂に入るお客さんや生理的にハンガリーのお風呂に少し抵抗のある方をいう)と同行するときはスリッパとバスタオルを持参する。

地元の人と会話をする。裸のお付き合いだ。  
温泉施設内を探索する。

マッサージやペディキュアを受ける。

入浴中に風呂のお湯や縁を観察しない。視線は常に上におき、「あゝ気持ちいいお風呂だ。最高!」と自分で思い込むことが一番大切。

お湯の温度は全体的に物足りないが、慣れてくるとこれが気持ちよくなる。なぜなら、すぐお湯に飛び込める。長話をしながら入れる。健康にいい。38度位のお湯にのんびりつかっていると、本当にリラックスでき、そして、風呂から上がった時に身体が芯から暖まっているのに気がつくはず。のんびり、ゆったり入るのがコツ。

この文書はあくまでも個人的なものですから苦情や御意見等ある方は連絡下さい。また、面白い情報、アドバイス等ありましたらお教え下さい。

# 無知と非合理と狂気

盛田 常夫

日本は天皇制国家か

それにしても恐れ入った。国旗・国歌法が成立して、「国旗・国歌を尊重できない人は日本国籍を返すべきだ」（梶原岐卓県知事）、「教師と児童には君が代を歌わない自由はない」（高知市教育委員長）と公言する人が出てきた。もっとも地方の実態を見れば、保守政治家や教育委員長の思考水準は大差ない。民主主義とか思想の自由など、左翼のイデオロギーとしか考えていない。左右を問わず、権力への批判を許さないという点で、中国の政治体制を批判できないほどに封建的だ。紛れもなく日本はアジア型社会だ。国外に出て日本の主張を堂々と闘わせることのできない人々が、国内で民族・国家主義の必要を強調する矛盾。

アメリカの外交政策にはごもつとでもすと一切異議を唱えず、国旗・国歌を尊重せよとは聞いて呆れる。影の薄い日本の対外政策に自主性と独自性を発揮することが先だろう。そうすれば、尊重は自然に湧き出てくる。先進国の首都に外国の軍事基地があるのは日本だけという屈辱にも無神経な輩に、民族主義を語る資格があるか。保守でも、横田基地廃棄を主張する石原都知事のように、自主独立を明確にしてもらいたいものだ。

「日の丸」は良いとして、理解不能なのは「君が代」だ。天皇家の繁栄を願う歌をどうして国歌として承認しなければならぬのか。いったい日本は天皇制国家なのか、議会制民主主義国家なのか、はっきりして欲しい。天皇家の家紋（菊の紋章）が事実上、国章として利用され、国印（国印）として戦前の大日本国国璽が利用されている。この両者は法制化されていないが、しかし今回、君が代が法制化され

たことで、国章、国印、国歌の三位一体が実現した。形の上で日本は天皇制国家だと宣言するに等しい。

国旗・国歌法案成立以後、いくつかの省庁の記者会見では大臣の指示で日の丸を手にした事務官が大臣に付き添い、会見終了とともに持ち帰る。何とも馬鹿げたことだ。そんなに日の丸・君が代を強調したいのなら、会見を始めるごとに大臣に「君が代」を歌ってもらったら良い。いかに時代錯誤の戯画的振る舞いか、自分でも分かるだろう。

「くすぐず言う奴は共産主義者」  
いったん国会上程を見送られた国旗・国歌法案が、公明党の連立参加決定によって成立した。国の将来像を議論する絶好のチャンスを、連立参加の踏み絵代わりにして、わずか十数時間の審議時間で通してしまおうとは、いったい何事か。

それにしても、呆れ返る言明が政府

与党の政治家から放たれた。「日の丸・君が代が戦争したわけではない」とは野中官房長官の弁。それはそうだろう、「天皇だって戦場に出かけたわけではない」。じゃ聞きますが、誰に戦争の責任があるのですか。麻原だって言ってますよ、「弟子が勝手にやったことだから、俺は知らない、無罪だ」と。保守政治家の言っていることは麻原の言っていることと同じじゃありませんか。戦場に駆り出されて無駄死にした一兵卒は、馬鹿だということですか。こういう言い訳が法理論上、通用しますか。それに比べれば、昔の武士や公家の方が格段に偉かった。主たる者、負けて従者を失なえば切腹か、僧門に入ると決まっていた。誰も兵士の責任などに転嫁しなかった。

野中長官のみならず、法案提出にあたっての森幹事長の言もただけでない。「日の丸が軍国主義の象徴で、君が代は天皇崇拜の歌だと言われた時期もある。しかし、戦後五十年たつて

そのようなことを言う人は、特定の思想をもった人だ」と。嘘を言っていない。「言われた時期もある」というような生やさしいものではない。森幹事長の年代がそれを知らないはずがない。それを「特定の思想の持ち主」に転嫁するなど、政府与党の戦争責任の自覚のほどが分かるうというものだ。アジア諸国の批判に対しては取り繕うが、国内向けには強権で行くなど、典型的な二枚舌だ。

森幹事長の意見は典型的な保守政治家の思いを代表するものだ。この本意を翻訳すると、「日の丸・君が代でどこが悪い。ぐずぐず言う奴は共産主義者だ」。これって、戦前の発想と同じじゃありません？ いくら何でも、戦後五十年も与党を担ってきた責任ある政党の幹事長なら、もっと真摯で丁寧な説明があつてしかるべきでしょう。

「日の丸は軍国主義の象徴として使われ、君が代は天皇崇拜の歌だったことは事実であり、戦前の不幸な歴史です。しかし、戦後、平和憲法の下、日本は軍事力を放棄し（自衛隊は？）、アジアと世界の平和の実現（ベトナム戦争加担は？）に努力してきました。このように戦後の日の丸は新生日本の平和実現の象徴として使われてきました。それに免じて、この度、国旗と定めることをご了解願いたい。

戦前、確かに君が代は、天皇の御代の永続を願うものとして歌われてきましたが、戦後、統帥権を失い、象徴となられた天皇は国民の上に立つ存在ではなく、国民全体を代表（？）する象徴として親しまれてきました。象徴天皇のご繁栄を祈ることは国民全体の繁栄を祈ることもあり、戦前とは歌詞の歴史的な背景が異なります。こうした事情をご勘案の上、戦後の民主主義の発展に即した君が代の解釈の変遷（？）に免じて、ここは国歌と制定することにご協力いただきたい」と。

せめてこの程度の説明があつて然るべきだ。そもそも歌詞の解釈さえ統一できない代物を、どうしてはたばたと法律に制定しなければならぬのか。日本は二一世紀に犯した国家の大罪を清算することなく、二一世紀に引きずっていくのだろうか。

主権在民を教え、君が代を強制する教育の矛盾は、どう解決されるのだろうか。そのようなことを考える教師は、「特定の思想を持った輩」だということだろうか。

無知は悲劇か喜劇か

与党政治家の無知と不見識を晒し出すもう一つの事例は、タイム誌の「二一世紀の日本人」だ。小淵首相が推したのは昭和天皇。タイム誌はその推薦を受け軍服姿の昭和天皇の写真に掲載し、これに驚いた政府が抗議するという醜態があつた。

昭和天皇が今世紀の日本社会に与えた影響を考えるなら、それは当然、

君主制国家を統治した天皇に他ならない。それは世界史の常識だろう。タイム誌は歴史の見識にもとづき昭和天皇を扱い、小淵首相は日本の政治家の不見識にもとづいて昭和天皇を推薦しただけ。もちろん、戦争責任をお取りになり、僧門に入られ、残りの生涯をアジアと世界平和実現のために捧げられたなら、戦後のお姿を推すことに特別な意味もあつたと思うが。

もつとも「形骸化した天皇」を二一世紀の日本人の代表というなら、それはそれで「去勢された戦後の日本人」を象徴する絶妙なウィットと言えるかもしれない。もちろん小淵首相にそのようなウィットなどあるはずがない。

凡人が歓迎される理由

小淵首相が総理に選ばれて間もない頃、タジキスタンでゲリラに処刑された秋野豊君を弔問すべく、外遊からの帰途、羽田から直接北海道に向かった。それにしても、小淵首相はなかなか

か人情のある細やかな人だ。党内のあらゆる政治家にひっきりなしに電話し、お伺いを立てるというまめな性格が、特別に魅力のない政治家を総理に仕立てた。

そういえば、田中首相の後は、リーダーシップのある首相は選任されていない。これは日本の社会の成熟や変化に関係あるのだろうか。社会の成熟度が高まるにつれ、一人の傑出したリーダーが治めると、無用な緊張や対立が生まれ易い。それを避けるために、トップには当たり障りのない人で、他人の意見を傾聴するこまめな人を選ぶ。これは政治の世界だけでなく、会社の世界も同じ。賢い人は緊張と紛争を生むからいらぬ。凡人だが、他人の意見を良く聞く、談合型が歓迎されるのだ。

こういう世界では、大勢に従わない人は嫌われ、排除される。とりわけ、アジア型の過密社会では、集団の意思が最優先される。集団の取り決めや規



則に従わない人は「異端」で、「特定の思想」の持ち主として排除される。こういう集団では、およそ議論とか討論というものが成立しない。異なる意見を持つことが、即、対立や喧嘩になる。「君が代」で何が悪い、ぐずぐず言う奴は共産主義者だ、という乱暴な話になる。

そもそも自民党自体がそういう集団だ。総裁選挙で小渕派や森派から加藤紘一に投票した議員が出た。当然だろう。見識や魅力が違う。だが、「裏切り者は一週間の内にあぶり出してみせる」というヤクザまがいの組意識は、およそ黨員個人が自立した主体であるという民主主義とはほど遠い封建社会を想起させる。先進国と言われる国のなかで、日本社会ほどプリミティブな社会主義に近い集団主義国家はないだろう。

無知はカリスマを求める

「人の上に人をつくらず、人の上に

人をつくらず」というのが、二世紀に人類が実現しようとした民主主義原理だ。しかし、この実現を目指した人類は、二世紀前半に資本主義社会でナチズムや天皇制ファシズムを生みだし、社会主義社会でスターリン主義を生み出した。社会・経済制度に関係なく、全体主義の統治システムが支配した。二世紀後半はこうした人類の苦い経験と反省から、民主主義を現実化する努力がおこなわれたが、二世紀が終わろうとする今も、人類は依然として民主主義をわが物にできないでいる。

王室を残し、社会的な行事に利用するというのは、依然として人類が民主主義実現の過渡期にあることを示している。生まれながらにして、特別な存在というのは民主主義とは相容れない。しかし、多くの人は違和感なくその存在をそのまま受容している。民主主義などと口では言うが、王室から勲章をもらって有り難がるような

儀礼が未だに必要なのだ。

平民の上に立つ存在を維持し、勲章や任命などの形式的な儀礼を必要とする制度がある限り、民主主義社会とはいえない。それは天皇であれ、共産党主席（書記長）であれ、同じだ。共産党支配を批判し、天皇制（王室）を受容するのは、目くそ鼻くその類。他人の事は良く分かるという譬えだ。

たくさんいる小天皇

象徴天皇のような形骸化した天皇では実際の役に立たぬ。だから、人は自らを救済してくれる実用的な天皇を求める。個人の無力と無知が人の上に立つ存在を必要とする。それは合理で説明できない。だって、民主主義を標榜する社会に天皇制が維持される非合理があるのだから、個人が自分の天皇を求める非合理が否定されて良いはずはない。

だから人はカリスマや宗教を求める。そこには凡人を超える存在がある。

無力であれば、何かに頼らなければならぬ。しかし、絶対的な信頼がかけられる人間は存在しない。だから、人を超える存在が必要なのだけだ。

同じ宗教でも様相は異なる。キリスト教では神の前に人は皆平等。キリスト教に現人神（あらひとがみ）はいない。神父はいかなる意味においても、現人神ではない。ところが、俗宗教には現人神がいる。創価学会しかり、オウム真理教しかり。こういう現人神がいる俗宗教は胡散（うさん）臭い。現人神はそれぞれの宗教の神格化された天皇だ。何人も、それを批判することは許されない。旧社会主義圏では、共産党と共産党書記長がその役割を担っていた。

二世紀も終わりになって、人は未だこういう現人神を求め続ける非合理の中に生きている。宇宙は人を超える存在だから、それを神に譬えることはできよう。そして、無限の宇宙のなかで、人は皆平等というのは合理的で

ある。キリスト教が民主主義と共存できる所以だ。ところが、現人神を奉る俗宗教は民主主義の合理とは相反する。その非合理が社会との摩擦や狂気を生み出し、場合によっては暴力に転化する。

人が無知や無力からの救済を、人を超える存在に求めようとする限り、その非合理から生まれる摩擦や暴力から解放されることはない。非合理が狂気に転化し暴力化する事例は、何もオウムが最初ではない。天皇制国家そのものが究極の「非合理の狂気」だった。だから、「オウムの狂気」も日本社会そのものが孕む狂気なのだということを忘れてたくない。

去勢された若者

それにしてもなんたる様だ。末広とか広末というというタレントを一目見ようと、学生が教室の回りに押し寄せ、授業が成立しないという。国会ではガイドライン法、盗聴法、国旗・国歌法の論議がおこなわれている最中

に、天下の早稲田の学生が何という醜態だ。

そういえば、昔ゼミナールで出席者が少ないので、どうしたのかと聞いたところ、「×君は松田聖子の結婚式を見に、原宿に行きました」。馬鹿野郎、田舎者め、そんな奴はゼミから除名だ、という経験がある。

もう最高学府などと言わなくなつたが、それはそうだろう。今の大学生の知力は歴史上最も低水準を徘徊している。対外市場との競争に晒されない大学の知的レベルは、絶対的に低落している。今、日本社会で一番のリストラが必要なのは大学だろう。

聞けば、学生だけではない。主婦は朝から、サッチーとかの喧嘩番組で、テレビに釘付けだという。そんな暇があるのなら、もつとやることがあるだろう。知性に欠ける学生がテレビ局に就職して、芸能ゴシップやお笑い番組を製作する。朝からこんなゴシップで騒いでいるテレビ局など、ヨーロッパ

のどこの国にもない。恥ずかしいことをしているという自覚がないから、深刻だ。

UFOからオウムへ

オウム事件の後、大学生の意識調査が行われた。オウムに加わった若者をどう思うかというアンケートである。正確には覚えていないが、「同感できるところがある」と答えた学生のパーセンテージはかなり高かった。これには思い当たる節がある。

今の教育は丁寧な自然科学・科学史教育を行っていない。だから、学生は合理的に自然を思考する能力と知力を鍛える場がない。宇宙の生成や物理の基本理論など、歴史的に学ぶことがない。だから、かなりの学生が麻原の空中浮揚という馬鹿げた手品に引かれる。

私の経験でも、学生とUFOの議論をすると切りがなかった。UFOを信じる学生に、それじゃ聞くがという議

論を何度もした。

「いったいUFOって何だ。お前、UFOの意味知ってんのか。これはただの未確認物体という意味だぞ。未確認というのは、何が何だか分からない物を見たというだけ。それから先、具体的な発見や検証がどこかでされているのか。知っているなら言ってみろ。もし本当にUFOなる物が地球に飛来したならそれはたいへんなことだから、本気でそう考えているなら、実際にそれが何だったのか調べたのか。本当にUFOが別の天体から飛来した物で、実際に地球上にきたというなら、世界中の科学者が大騒ぎするはずだ。そういう風に論理的に物を考えないで、ただ何か不思議な物があるという思い入れは駄目だぞ。きちんと論理的に考えて、話ししろよ」。

でも文科系の学生は物理学も宇宙論も勉強したことがないから、まずこういう論理も理解不可能。反論できなくても、「でもUFOってあるんだよ

な」で終わる。テレビの手品番組やオカルト番組に脳を冒された若(馬鹿)者たちのUFOを信じる心は、麻原の空中浮揚を信じる心と紙一重。今の教育には、無知が非合理を、非合理が狂気を生むという道筋は敷かれている。これに「君が代」を付け加えたら、もう支離滅裂。

それにしても、「衣食足りて礼節を知る」というが、今の日本は「衣食足りて知滅ぶ」だ。政治家もそうだが、大学もテレビももう少し何とかならないのだろうか。このままじゃ二一世紀にとても世界で太刀打ちできない。

## 掲示板

一軒家貸します。

敷地250坪、居住空間250平方メートル。3階建て。トイレ3カ所、バスルーム2カ所。床暖房、冷房付き。改装済み。2区薔薇が丘。問い合わせは編集部に。

家庭教師します。

北野 善知（連絡:306-9931）

## 編集後記

最近、友人・知人の訃報に接する機会が多くなった。秋野豊君がブダペストを訪れたのは九四年も夏が終わる頃。専門が違うのでそれまで直接に言葉を交わしたことはなかったが、彼が北大大学院生だった八三年に、北大スラブ研究センターの国際セミナーで私が報告している。ブダペストで夕食を一緒にした時に、その時の印象を話

してくれた。小柄だったが、ラグビーと柔道をやっていた上半身は筋肉マンそのものだった。シベリアをオートバイで横断したことも話してくれた。政府のアドヴァイザーの仕事がしたいというのが口癖だった。この出会いがきっかけになって、彼が留学先に選んでいた東西研究センターの仲間とも知り合いになった。そして、数年後、今度は私が彼の訃報をポーランドとハンガリーの友人達に伝えることになった。

ロンドンに留学していた横浜国立大学経済学部の名物教授岸本重陳氏がブダペストを訪れたのは一九七九年春。同じくロンドンにいた同僚の永井進君と三人で、ベオグラード、ザグレブを回り、ヘーヴィスからブダペストに戻ってきた。ソ連製のラダを駆つての旅行だった。何とも平和な旅だったが、イギリスにはない対向二車線の国道で、遥かに見える対向車に注意しながら追い越しをかける私の運転し

肝を冷やし続けどうだった。恋する人に毛筆で手紙を書くのが日課だった。水彩のスケッチを添えて。「喪主はパートナー」とあった。

知人というには恐れ多いが、ソニーの盛田昭夫会長がブダペストを訪れたのは一九九〇年。名前が一字違うだけなので、出身地が話題になった。経済大学で講演会とレセプションを組織した。語彙も言い回しも豊かとは言えないが、言いたいことを明瞭に英語で話す話術を教えてもらった気がする。黙祷。（盛田）

## 編集室より

次号の締め切りは、12月中旬とさせていただきます。

TEL/FAX: 266-4967

e-mail: t-morita@hungary.net